

よいこの こうつうあんぜん

あんぜん小学校



一般
財団法人

東京都交通安全協会

保護者の皆様へ

いよいよお子さんがご入学される季節となりました。

子供^(※)の歩行中の交通事故死傷者は、7歳児が最多となっています。

初めて小学校へご入学されるお子さんを交通事故から守るためには、まず通学時に交通安全の「きまり」をよく理解させることが大切です。

お子さんに偏食させない、手伝いをさせる、夜ふかしをさせないなど、生活の「きまり」を身につけさせるとともに、交通安全の「きまり」を繰り返し繰り返し話すなど、家庭における交通安全教育がとても重要です。

※「子供」とは、統計上、中学生以下のことを指します。

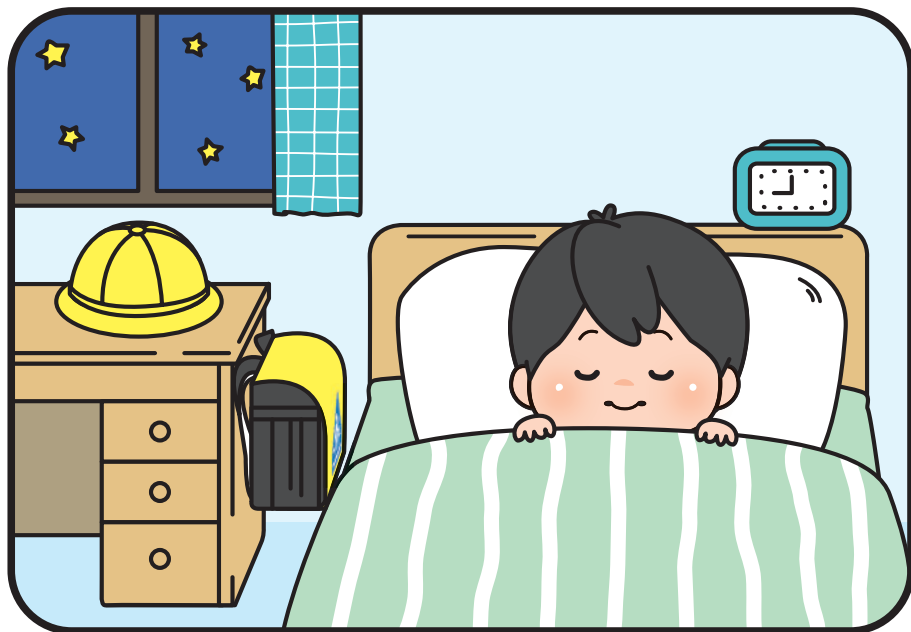
— も く じ —

○ あしたのじゅんぴ	2 ページ
○ どうろを あるくとき	3
● つうがくろ	4
● どうろを わたるとき	5
● しんごうきのない おうだんほどうのわたりかた	6
● しんごうきのある おうだんほどうのわたりかた	7
● ふみきりを わたるとき	8
● あめのひの ちゅうい	9
○ じてんしゃに のるとき	10～11
○ くるまに のるとき	12
● チャイルドシートのはたらき	13
○ あそびに いくとき	14
○ あぶない あそび	15
○ とびだし ちゅうい	15
○ おうちのかたと おはなしをしましょう	16
○ どうろのきまりを まもりましょう	

スロ ー ガ ン

こ ども む 向 け	し 知ってるよ いつもの ^{みち} 道でも みぎ ひだり やめようね 飛び出し ^{と だ} かけ出し ^だ ふざけっこ
じ てんしゃ 自 転 車 む 向 け	ほ どう ほ こうしゃゆうせん わす 歩道では 歩行者優先 忘れずに じ てんしゃ じ こ ぼう し 自 転 車 も ルールとマナーで 事故防止

あしたのじゅんび



◇あしたのじゅんびをして、
なるべくはやくやすみましょう。

あんぜん
安全も とうげこう
カバンにつめて 登下校

保護者の皆様へ

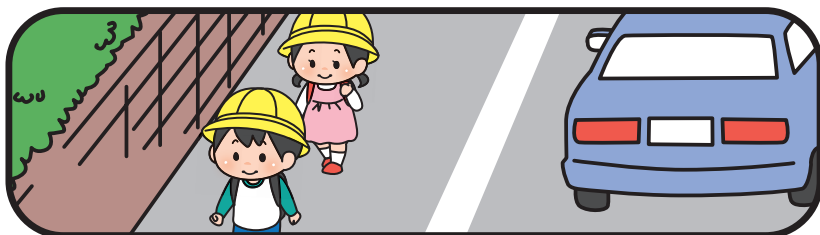
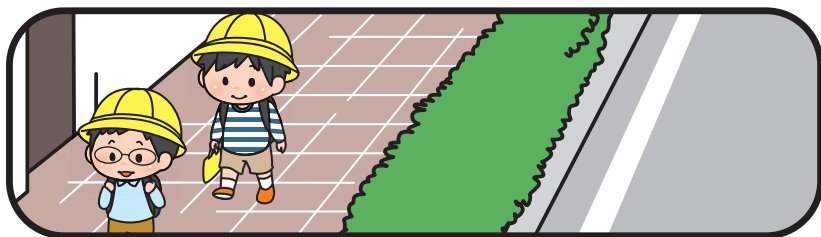
◇入学前から、子供と就寝時間を決め、
それをきちんと守る習慣をつけさせ
ましょう。

◇学校の準備は、前日のうちに済ませ
忘れ物のないようにしましょう。

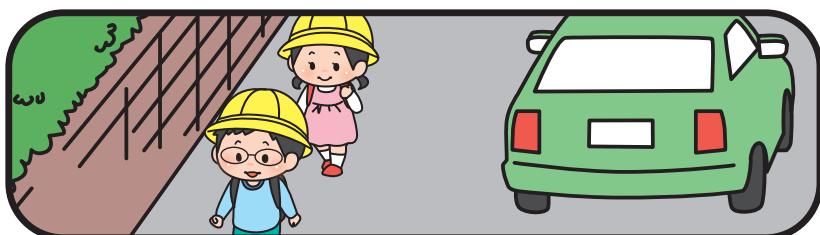
◇朝は早めに起こしましょう。
始業時間に遅れそうになり、通学途
中で駆け出したり、車道に飛び出し

たりしないよう、時間に余裕を持っ
て登校させましょう。

どろを あるくとき



◇ほどうや、ろそきたいのなかを、あるきましょう。



◇ほどうや、ろそきたいのないどろをあるくときは、みぎがわをいちれつになってあるきましょう。

ある 歩くのは ^{みぎ} 右だよ ^{あお} 青だよ ^{ほ どう} 歩道だよ

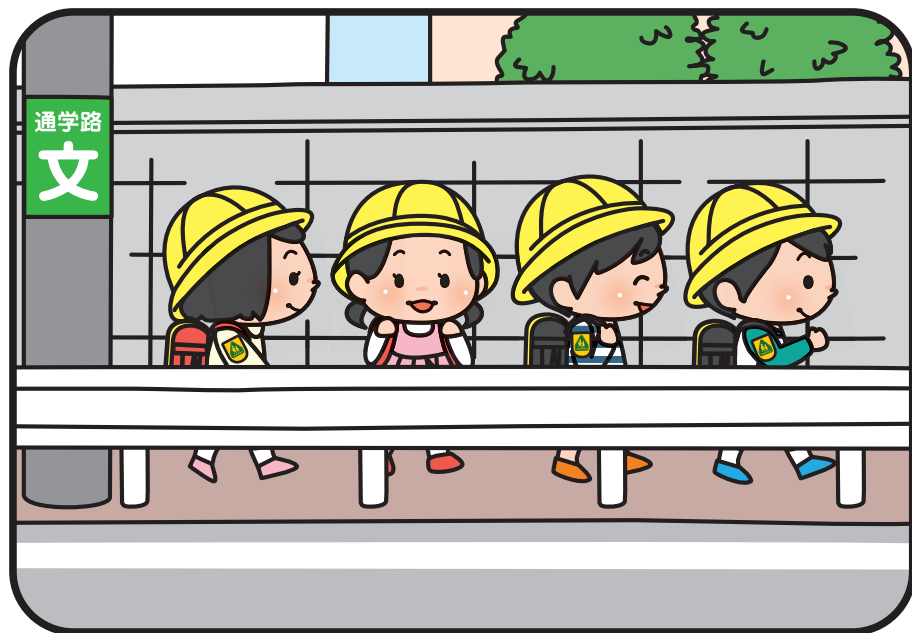
保護者の皆様へ

- ◇道路を歩くときに、ふざけたり、広がったりせず、右端を一直線になって歩くよう教えましょう。
- ◇歩道のある場所では歩道を、歩道に白線がひいてある場所では、その内側（家寄り）を歩かせましょう。また、歩道のない道路の端に白線（路側帯）がある場所では、その内

側を歩かせましょう。

- ◇目や体の不自由な人が持っている白や黄色の杖の意味や盲導犬の役割、そして、こうした人達の安全を守ることの大切さを教えましょう。

つうがくろ



◇がっこうにいくときと、かえるときは、
かならずつうがくろをとおりましょう。

とお 遠くても い 行きも かえ 帰りも つうがくろ 通学路

保護者の皆様へ

◇交通事故や、誘拐などの事件に遭わないためにも、通学路を歩くことが安全なこと、また、歩く時には車や自転車等に注意することを、子供によく話して聞かせましょう。

◇入学前に、子供と一緒に通学路を歩いてみましょう。

歩くときは、できるだけ登校下校時

間に合わせるようにしましょう。

また、横断歩道の渡り方、信号や、標識の意味などは、現場で子供に正しく教えてあげましょう。

どろを わるとき



◇どろをわるときは、**はどうきょう**か、**おうだんどう**をわたりましょう。

^き気をつけよう ^{ばしよ}わたっていい場所 ^{ばしよ}だめな場所

保護者の皆様へ

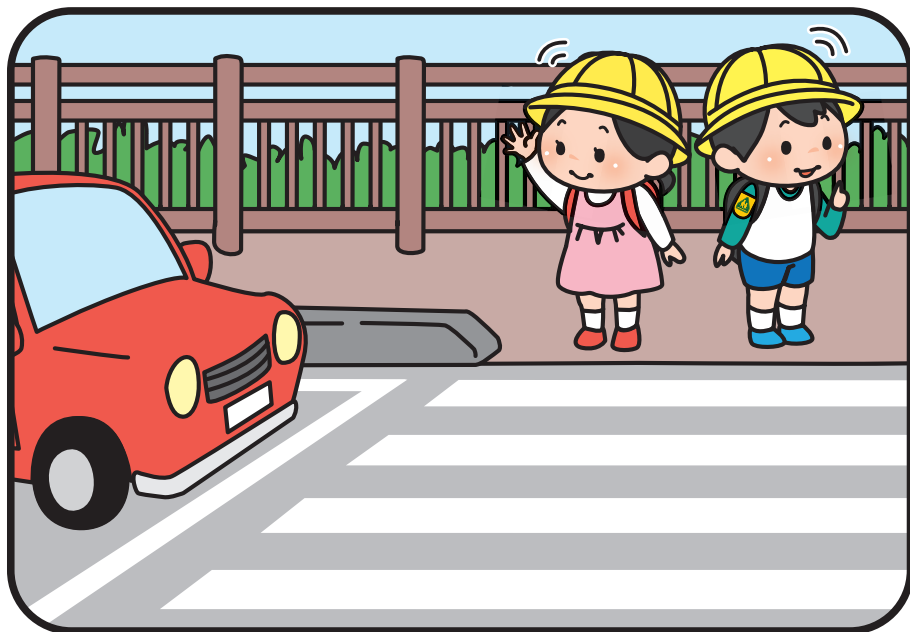
◇「歩道橋を渡りなさい。横断歩道を渡りなさい。」と言っても保護者の皆様が実行しなければ子供は守りません。

子供のために、保護者の皆様はいつも正しい手本を示しましょう。

◇道路は川と同じようなものです。そして、川を渡る一番安全な方法が橋

を渡ることであるように、道路を横断する時は、歩道橋があれば、歩道橋を、なければ横断歩道を渡りましょう。道路を渡るときは、横断禁止場所を渡ったり、斜め横断をしないこと。遠回りでも必ず歩道橋か、横断歩道を渡るように教えましょう。

しんごうきのない おうだんほどうのわたりかた



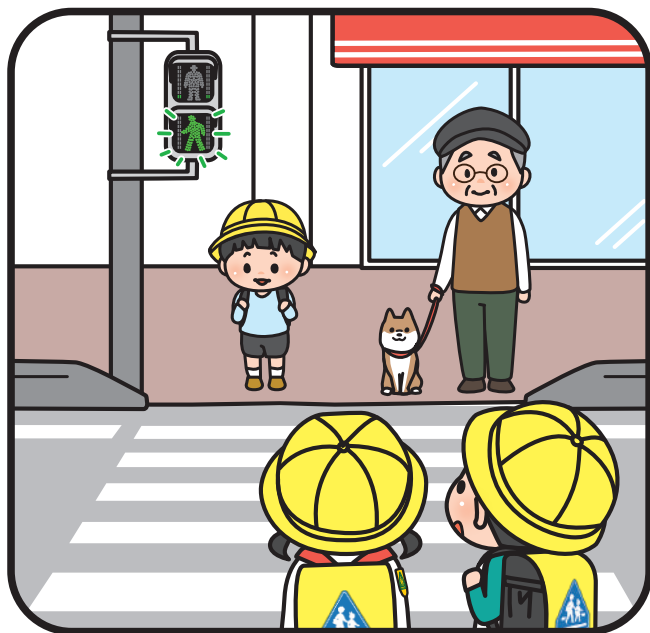
- ◇どうろをわたるまえに、**かならずとまって、みぎとひだりをよくみて**、くるまがちかづいてこないか、くるまがきていれば、とまってくれたかをよくたしかめてから、てをあげてわたりましょう。

^し知ってるよ ^{みち}いつもの道でも **みぎ ひだり**

保護者の皆様へ

- ◇道路を渡るときは、必ず横断歩道の手前で一度止まり、左右をよく見て、車が止まってくれたか、もしくは車が来ていないかをよく確認してから、手を上げて渡るよう教えてください。車の運転者からよく見えるように大きく手を上げることが大切です。
- ◇走っている車が止まった場合でも、他の車の動きに注意して、安全を確かめてから横断するよう教えてください。また、横断中も車が近づいて来ないかどうか、止まっている車の陰から別の車が突然出てこないかなど、周りに注意をすることも必要です。

しんごうきのある おうだんほどのわたりかた



◇あおのしんごうが、ちかちかはじめたら、わたるのはやめましょう。

◇しんごうがあおになっても、**みぎとひだりをよくみて、くるまがきていないか、あんぜんをたしかめてから、てをあげてわたりましょう。**わたるときは、くるまのうんてんしゃからよくみえるよう、てをたかくあげましょう。

あお くるま み
青だけ 車はわたしを 見てるかな

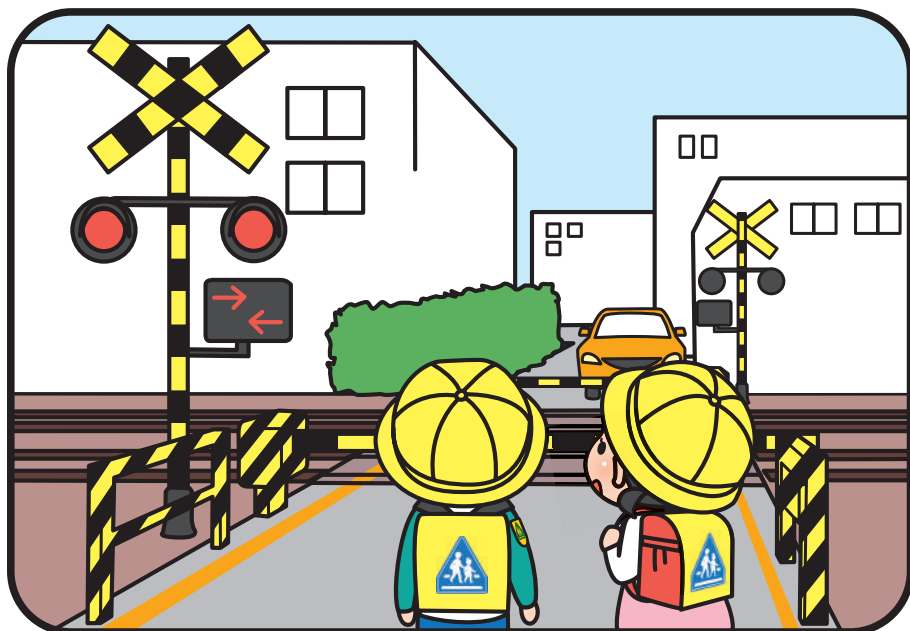
保護者の皆様へ

◇人の形をした信号表示は、赤色と青色のみで黄色がありません。青色の点滅が黄色信号を表しています。

青色が点滅を始めたらず、次の青信号まで待つように教えましょう。また、信号が青色になっても、すぐに渡らず、左右の安全を確かめ、左

折や右折をしてくる車に注意し、安全を確認してから、手を上げて渡るように教えてください。

ふみきりを わたるとき



◇しゃだんきがおりにいたり、けいほうきがなっているときは、でんしゃがみえなくても、**ぜったい**ふみきりに、はいってはいけません。

ふみきりだ ^な鳴らせ ^{こころ}心の けいほうき

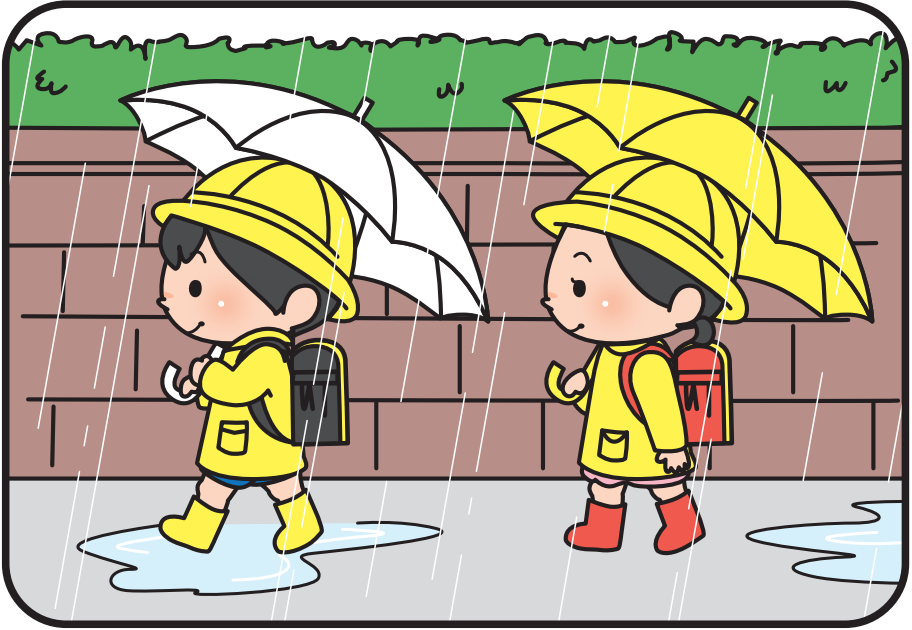
保護者の皆様へ

- ◇踏切の渡り方で大切なことは、まず止まって、目と耳で左右の安全を確認する習慣をつかせることです。次に大切なことは、片方からの電車が通りすぎても、反対側から来る電車があることを、よく教えることです。
- ◇電車が通るときに、踏切の近くで待つと、風圧で巻き込まれることがあります。踏切から、少し離れて待つ

ように教えてください。

- ◇自転車で渡るときは、自転車から降りて、押して行かせましょう。
- ◇警報機や遮断機の意味も、正しく教えてください。また、線路内で遊んだり、歩いたりしないようにさせましょう。遮断機が降りているときは、電車が近くに見えなくても、絶対にくぐらないように教えましょう。

あめのひの ちゅうい



◇かさは、まえがよくみえるようにしっかりもって、あるきましょう。

あめ ひ くるま
雨の日は 車がかさに かくれんぼ

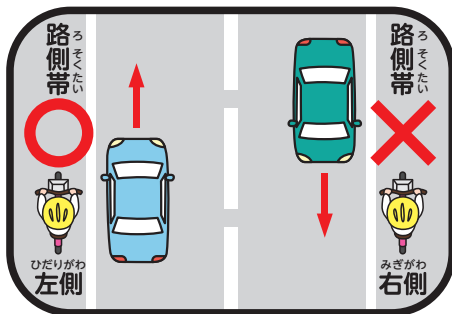
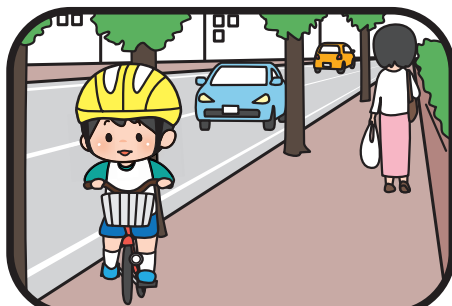
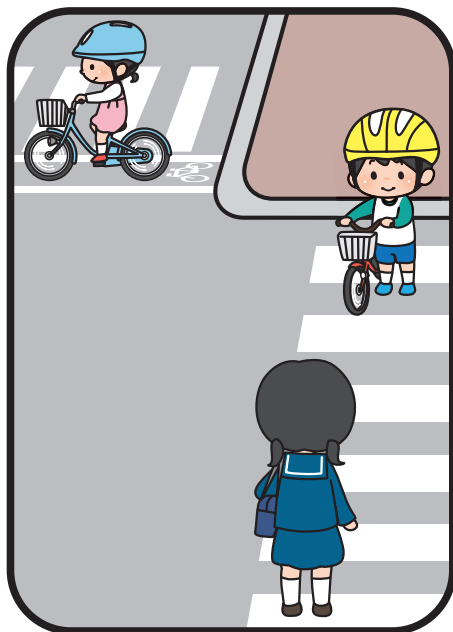
保護者の皆様へ

- ◇雨の日は視界が悪くなります。
洋服や雨具の色は、白色や黄色など、
運転者の注意をひきやすい明るい目
立つ色のものを選びましょう。
- ◇持ち物は、できるだけ手に持たせな
いで、子供が身軽に動けるようにし
ましょう。
- ◇道路を渡るときは、傘を高く上げ、
左右の安全を、よく確かめてから渡

るように教えましょう。

また、危ないので、傘などで遊びなが
ら道路を歩かせないようにしましょ
う。

- ◇雨が降ると、道路が滑りやすくなり、
車は停止するまでの距離(停止距離)
が長くなることを理解させましょ
う。



◇こうさてんをわたるときは、じてんしゃおうだんたいをわたるか、おうだんほどうを、じてんしゃからおりて、おしてわたりましょう。

◇じてんしゃにのって、「ほう」や「ろそくたい」をはしるときは、あるいているひとにめいわくをかけないようにしましょう。

保護者の皆様へ

ほどう ぼうこうしゃゆうせん わす
歩道では 歩行者優先 忘れずに

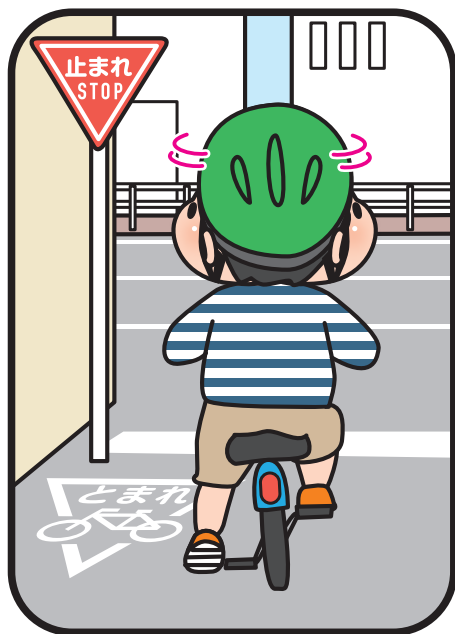
- ◇安全に乗ることができるようになるまで、道路では乗らせないようにしましょう。
- ◇自転車に乗車させるときは、ヘルメットをかぶらせましょう。
- ◇夜間は、必ずライトをつけさせましょう。
- ◇自転車は、車道の左側通行が原則、歩道は例外です。
歩道を通行できるのは、
①道路標識等で指定された場合

- ②13歳未満の子どもなどの場合
- ③車道又は交通の状況からみてやむを得ない場合

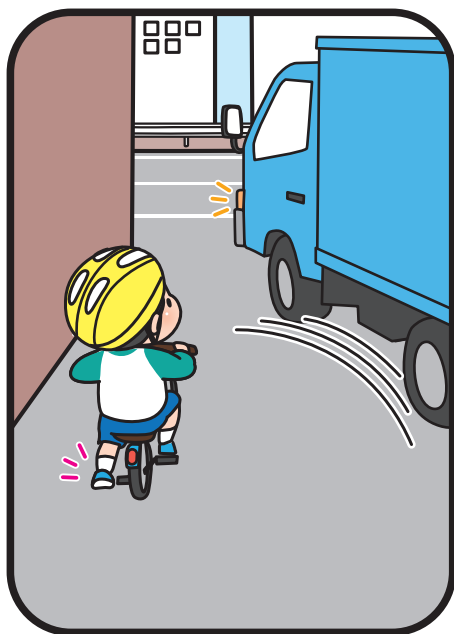
- ◇歩道では、車道寄りの部分を徐行しなければならず、歩行者の通行を妨げることとなる場合は、一時停止しなければなりません。
- ◇万が一のために自転車保険に加入しましょう。

(一財)東京都交通安全協会
ホームページQRコード





◇こうさてんや、まがりかどでは、**かならずとまって**、みぎとひだりを、よくみましょう。



◇ひだりにまがるくるまが、となりにあるときは、**かならずとまって**、くるまのうごきにちゅういしましょう。

じてんしゃ 自転車も ルールとマナーで 事故防止 じこぼうし

- ◇路側帯を通行する時は、左側の路側帯を通行しなければなりません。
- ◇交差点や曲がり角では、「一時停止」の標識や「自転車ストップマーク」がなくても、左足をついて必ず止まり、左右の安全をよく確かめるように教えましょう。
- ◇車は、曲がるときに後輪が前輪より内側を通ります(内輪差)。左折車に巻き込まれないようにするため、車

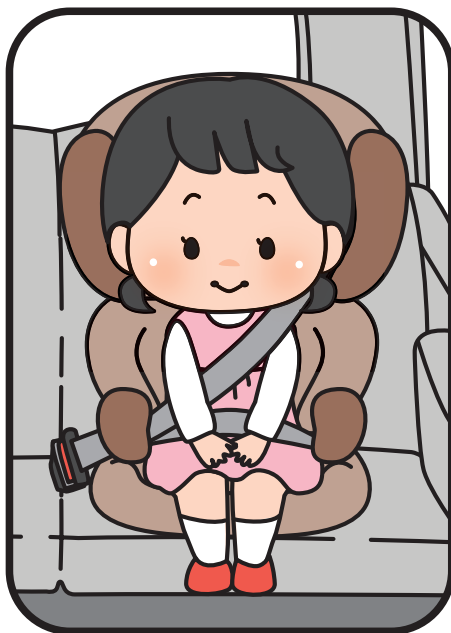
から離れて止まり、車が左折し終わってから前に出るように教えましょう。

- ◇車のすぐ前や横に止まると運転席からよく見えないことを教えましょう。
- ◇車は、曲がるとき(方向指示器)、バックするとき(後退灯)にライトがつきますので、それぞれの意味を教えてください。

くるまに のるとき



- ◇ ドアをきゅうにあけたり、くるまからとびおりたりしてはいけません。



- ◇ うしろのざせき^{がくどうよう}にのって、チャイルドシート（学童用シート）をしめましょう。

シートベルト ^{かならず}必ず ^し締めよう ^{ぜんざせき}全座席

保護者の皆様へ

- ◇ ドライバーは、6歳未満の幼児を同乗させるとき、チャイルドシートの着用が義務付けられていますが大人のシートベルトを使用することができるようになるまでは、安全のため体格に合った学童用シートなどの補助装置を使い、後部座席に座らせましょう。
- ◇ 車の助手席は、運転している保護者の目が行き届くため安心して座らせることができると思われがちです

が、衝突や急ブレーキの際に、ダッシュボードに体を打ちつけたり、エアバッグ装置車であれば、膨らむ力で突き飛ばされ、怪我をするおそれがあるので、後部座席に座らせるようにしましょう。

- ◇ 車に飛び乗ったり、飛び降りたりさせてはいけません。
- 周囲の安全を確かめてから、左側のドアを開けて、乗り降りさせましょう。

「チャイルドシートのはたらき」

◎自動車に乗っている子供を交通事故から守るために使用するチャイルドシートには次の種類があります。

- 乳児用（新生児～1歳くらい）
- 幼児用（1歳～4歳くらい）
- 学童用（4歳～10歳くらい）

Q. 学童用シートとはどんなもの？

A. 座高を上げ、背の高さを補い、大人の3点式シートベルトを使用することが出来るようにするものです。「ブースターシート」「ジュニアシート」とも呼ばれ、お尻に敷くだけのタイプと、背もたれ付きのタイプなどがあります。

Q. 使用する体重は？

A. 使用する種類にもよりますが、体重は14kg～32kg位まで使用できます。

Q. どんな働きをするの？

A. 大人のシートベルトと同じで、交通事故にあったとき、体が自動車の外に飛び出たり、ぶつかったりするのを防止します。座布団やクッションで、学童用シートの代用をしたりすると座席から座布団などが滑り落ちたりして、危険です。学童用シートの着用により死亡や重傷に至らず、軽傷で済んだ事故が多くあります。大切な子供を交通事故から守るために、使用の際には安全性の高い後部座席に取り付けます。



写真提供=コンビ(株)

お尻に敷くタイプ



写真提供=コンビ(株)

背もたれ付きタイプ

あそびに いくとき



◇あそびにいくときに、おうちのひとがいれば、
かならずいきさきをはなしてからいきましょう。

かあさんと やくそくしたよ こうつうあんぜん 交通安全

保護者の皆様へ

◇学校に入ると、子供には、新しい友達ができるなど、行動範囲が広がります。

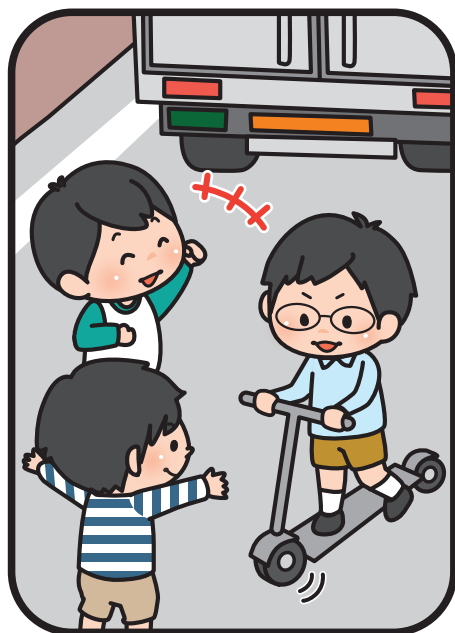
したがって、遊びに行ってもよい範囲を、子供と話し合って決めておきましょう。

また、遊びや買い物に行くときや、帰ったときには、家の人に必ず声をかけるように教育することも大切です。

◇保護者の皆様が知らない間に、子供が乗り出さないよう、家に置くときでも自転車にカギをかけ、カギは、保護者の皆様が保管するようにしましょう。

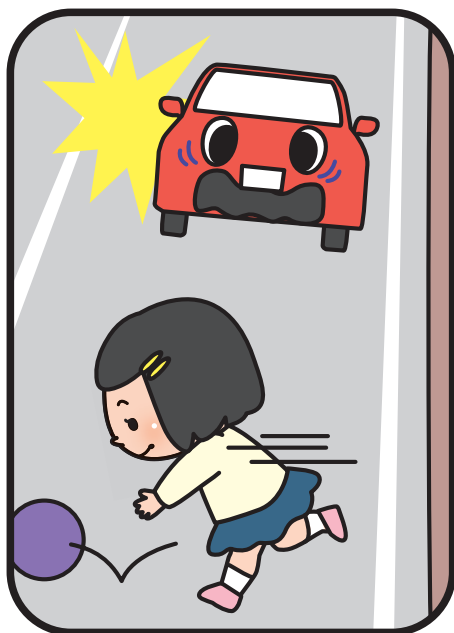
そして、子供が自転車に乗る時は、ひと言注意してから、カギを渡しましょう。

あぶない あそび



◇どうろであそぶのはやめましょう。

とびだし ちゅうい



◇くるまは、きゅうにはとまれません。
どうろへのとびだしはやめましょう。

やめようね ^と飛び出し ^だかけ出し ^だふざけっこ

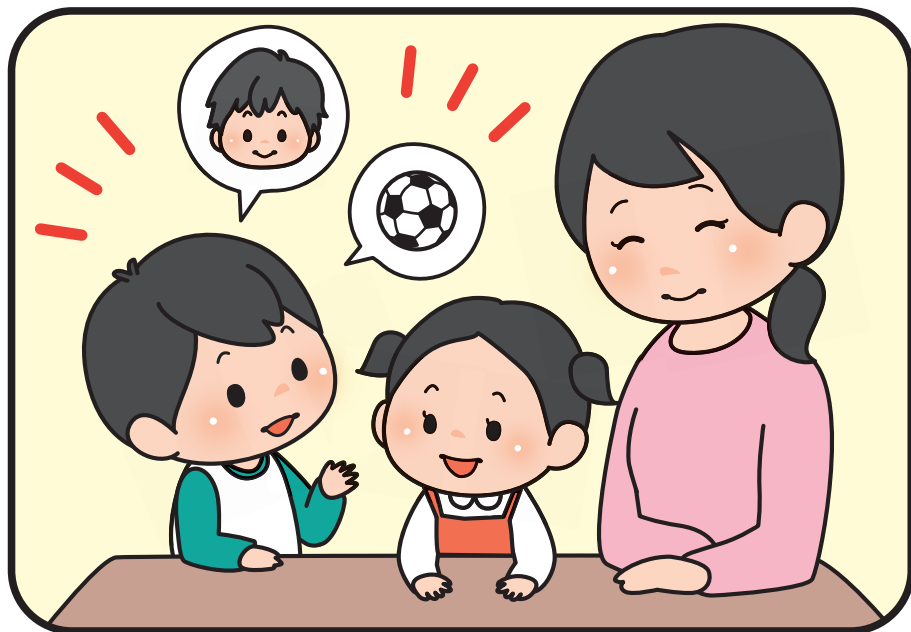
保護者の皆様へ

◇子供は道路で遊ぶこと、特に止まっている車の陰や、物陰などで遊ぶことがたいへん好きです。
車の後方など、運転者から見えない場所(死角)で遊んでいると、車が動き出したときに、轢かれてしまうことや車があまり通らない道路でも、いつ車が来るか分からない危ない場所であることを教えて、道路では遊

んだり、キックスケーターなどの遊具を使わせないようにしましょう。

◇子供は何か夢中になったり、関心をひくものがあると、そのことに気を奪われ、周囲が見えなくなる傾向があります。
道路に絶対に飛び出してはいけなことを繰り返し教えてください。

おうちのかたと おはなしをしましょう



◇がっこうであったこと、おともだちのことなど、
そのひにあったことを、おうちのひとにはなしましょう。

はな あ か てい わ だい こうつうあんぜん
話し合う 家庭の話題に 交通安全

保護者の皆様へ

◇子供が小学校に入るということは、
大人が考えるより、子供にとって大
きな出来事です。

それだけに、学校や、途中での出来
事、友達とのことなど、何でも保護
者の皆様に話すものです。そのよう
なときは、耳を傾け聞いてあげま
しょう。

子供とのやりとりの中から安全指導

のヒントがつかめ、交通安全につい
て、家族みんなが話し合い、注意し
合う雰囲気生まれます。

◇保護者の皆様が日常生活の中で子供
に対して安全教育を行うことは、と
ても大切です。そのためには、常に
子供の手本となる行動に心掛けま
しょう。

どうろのきまりを まもりましょう

「おうだんほうど」



◇みぎとひだりをよくみてわたりましょう。

「ほこうしゃ
おうだんきんし」



◇どうろをわたってはいけません。

「じてんしゃ
おうだんたい」



◇じてんしゃおうだんたいをわたりましょう。

「いちじていし」



◇じてんしゃは、いったんとまって、みぎとひだりをよくみましょう。

「じてんしゃ
ストップマーク」



「じてんしゃ および
ほこうしゃせんよう」



◇じてんしゃは、ほこうしゃにきをつけてとおりましょう。

保護者の皆様へ

- ◇歩行者横断禁止の標識が立っている場所は、危険な場所です。絶対に渡らないように教えましょう。
- ◇「止まれ」(一時停止)の標識のある場所では、車だけでなく、自転車も必ず止まらなければならないことを教えましょう。
- ◇道路に自転車ストップマークがある場所では、必ず止まるように教えましょう。道路標識や道路標示の意味を、実際に立っている場所で、保護者の皆様が繰り返し教えてあげましょう。

よいこのこうつうあんぜん

令和3年度版

発行 一般財団法人東京都交通安全協会
電話 03 (3592) 1246
協力 警 視 庁 交 通 部
電話 03 (3581) 4321

はし まち どうろ
やさしさが 走るこの街 この道路



交通少年団キャラクター

交通少年団
入団
募集中

まもるくん



まなちゃん

